草ヶ江 今和5年10月発行

まちづくりニュース 第37号

1. 令和5年のまちづくり協議総会 (会長挨拶)

草ヶ江校区まちづくり協議会におきましては、令和2年から始めた特定まちづくりルールの運用を、引き続き行ってまいります。また、"歩きたくなる福岡のまちづくり"をテーマに、居心地よくアート溢れる空間を目標に、景観街作りとアート溢れる文化を取り組んでおります。イベントの開催により、地域の活性化を図るほか、道路・交差点などの交通整備を行う等、今後も具体化を進めていく事となっており、安心安全で快適なまちづくりの推進をしていきます。

また、今回をもちまして会長職を退職させていただく事となりました。次期会長は武田紀夫会長へと引き継ぎを行うこととなっております。校区の皆様、今までご協力、ご支援いただき誠にありがとうございました。今後とも草ヶ江校区まちづくり協議会をよろしくお願い申し上げます。

草ヶ江校区まちづくり協議会会長 村田 保

お世話になっております。

次期会長を務めさせていただくことになりました、武田と申します。熱弁によって一つずつ進めてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

草ヶ江校区まちづくり協議会会長 武田 紀夫



2. 特定まちづくりルールと都市景観地区の導入について

草ヶ江校区まちづくり協議会では、特定まちづくりルールの適切な運用を継続的に実施していることを踏まえて、地域と協定を結ぶ取り組みを行っております。

(現在、協議が整ったものは12件、今年度4件が協議進行中です。)

また、地域の方から「段々街並みが綺麗になってきた」とお褒めの言葉を頂いたのと同時に、「看板類や屋外広告物に少し問題がある」といったご意見をいただきました。



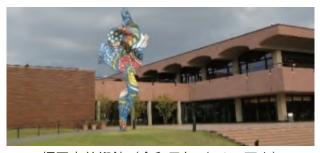
3. 福岡市と六本松の近況について

今年3月、七隈線が博多駅まで開通したことにより、六本松や福岡市科学館が、今までよりも多くの人が訪れる賑わいの場となりました。また、福岡市美術館の西側に、新福岡市県立美術館が令和11年に開館することに伴い、2つの美術館の相乗効果が相まって、今までにない雰囲気の公園内にある美術館として、芸術文化の場になるでしょう。

これを機に、草香江校区では六本松の駅と科学館、そして美術館に至る道を、街に潤いを与えるアートの道を計画し、美術館に訪れる人々を優しく導くストリートを考えています。町の将来を見据え、ワクワクする空間や創造性を育むアートと魅力がある町を、地域の皆さんと共に考え、構築することによって町の活性化を図ることを目的としています。



まち歩きルートと「アートのみち」案



福岡市美術館(令和元年/48.7万人)



福岡県立美術館(平成30年/23.3万人)

4. 街とアートのワークショップ

「アートは人をつなぎ、街を紡ぐ」をテーマに、11月末頃、小松・橋田・藤村でワークショップを行います。ワークショップでは、公民館から福岡市美術館までの道のりを散策し、実際に気付いた事やわかった事の共有を行います。その後、まとめた内容を行政・福岡市に要望を送ることを予定しています。

令和5年•10月			11月				12月			令和6年•1月					
1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31
メンバ	「一決定・	関係者説明		資料準備		ワークショッ	プ		整理・まとめ		福岡	市へ	の提案・	要望	
←		\longrightarrow	—		\Rightarrow	\leftarrow	→	•		—					=

草ヶ江校区まちづくり協議会ブログ https://kusagae.hatenadiary.org/

草ヶ江まちづくり

まちづくりについてのご意見を、<u>草ヶ江公民館内に設置されたま</u>ち協意見箱または下記FAXにお寄せ下さい。

意見はまち協における検討の参考にさせて頂きたいと思います。 左記ブログでもコメントいただけます。

FAX: 092-732-6186

		〈切り取り線〉	
(氏名)	(住所)		(電話)
(意見)			